

制作概要

N D K 第70回ファッションショーのフォーマルウェアのテーマ「Dream Art 美へのいざない」をもとに、私自身のテーマを「黒蝶」として黒色を基調にしたイブニングドレスをデザインした。

デザインイメージのもとにした蝶は本州、四国、九州に4月～8月に生息するジャコウアゲハで黒い羽根の後ろ羽根に白黄色の斑点をポイントした優雅な黒蝶で、オスは良い匂いを出すことでこの学名がついている。

シンプルでエレガンス、そして個性的にという私の一貫したデザインコンセプトを表現するために、ジャコウアゲハを今回、選択した。非常にエレガンスで、存在感があり、シャープに流れる直線と曲線の組み合わせ、透明感を生かしたデザインを考えた。

そのシルエットを表現するにふさわしい素材として、黒のベルベットをメインに選択した。シルエットを重厚に華やかに表現するには最もフォーマルな素材としてベルベットは定番の素材である。毛並みがあるため一方向にしかパターンを裁断できないという制約があり、用尺を多く必要とする難点もあるが、深みのある黒の美しさは格別で魅力的である。蝶が羽根を広げた曲線を表現するドレープはサブ素材としてシャリ感のあるラメ紗を使用した。地の目を横地に使い、両端をラウンドにカットして巻きロックで仕上げた。ロングドレスの中央はウエストからボックスプリーツを深く入れているので、その上部にラメ紗を縫いつけ、自由な流れや動きを演出できるようにした。黒一色の素材のミキシングの仕上げにアクセントとして、ラインストーンをアシメトリーな胸明き線とラメ紗には中央から放射線状に取り付けた。きらきらと輝き、ひらひら舞う黒蝶の華やかさを効果的に表現した。肩ひもはラインストーンが3蓮に繋がったテープを使用し、クリスタルな光るイヤリングとブレスレットをアクセサリとしてコーディネートし、凛とした強さを内面に秘めた女性の美しさを表現した。

橘 喬子
「Black Butterfly 黒蝶」
イブニングドレス



IMAGE PHOTO

Front Style



Back Style

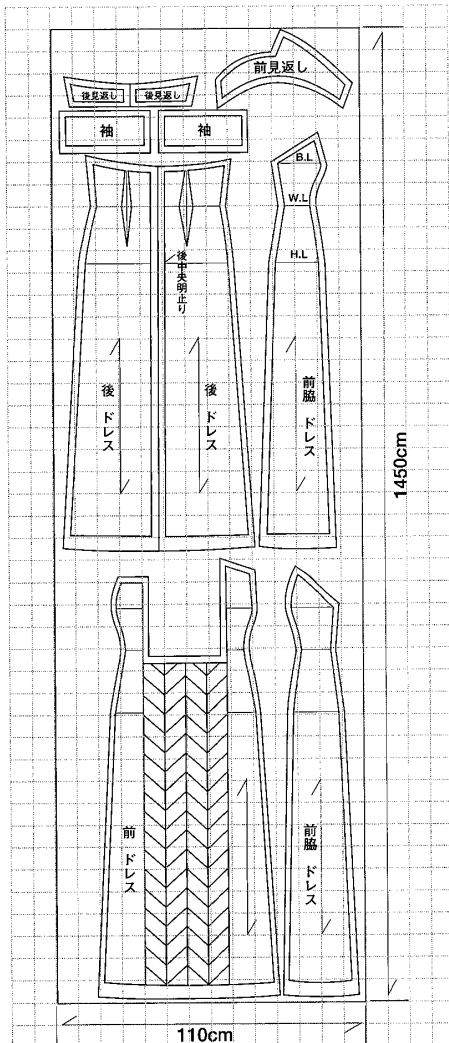
パターンとマーキング

モデルサイズに合わせて、シーチングを使用し、ドレーピングにてパターンを制作した。前身頃の胸明きを左右アシンメトリーにし、ウエストから4cm下から前中央にボックスプリーツを入れるため、中央は輪で裁断した。前身頃からスカートにかけてはバストポイントを通るプリンセスラインの切り替え線を入れ、フィット&フレアーなラインを構築した。後身頃とスカートはウエストダーツを入れ、スカートはゆるやかなAラインのパターンとし、前身頃と合わせた。袖は5cm幅の出来上がりで両面表地として裁断し、前後胸明きには見返しをダーツ分量を続けて裁断した。ベルベットは経地一方向にてマーキングした。縫い代はスカートの裾は5cm、他は1.5~2cmとした。

ドレープは緯地にして一枚で裁断した。裏地は胸明きの見返し奥からスカートまで、前中央のプリーツを除き、脇で深くスリットをさせるパターンとして裁断した。

ディテール

- ① 前身頃部分 (胸明き)
- ② 後身頃部分 (後明き)
- ③ 左サイド部分
- ④ 前スカートラメ紗ドレープ部分
- ⑤ 前デザイン
- ⑥ 後デザイン

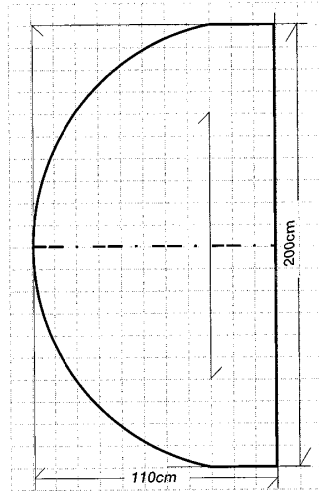


ベルベットロングドレスのパターン&マーキング

使用素材：ベルベット、ラメ紗、ラインストーン
 接着芯、ベンベルグ裏地
 アクセサリー：イヤリング、ブレスレット
 テーマイメージ：ジャコウアゲハ

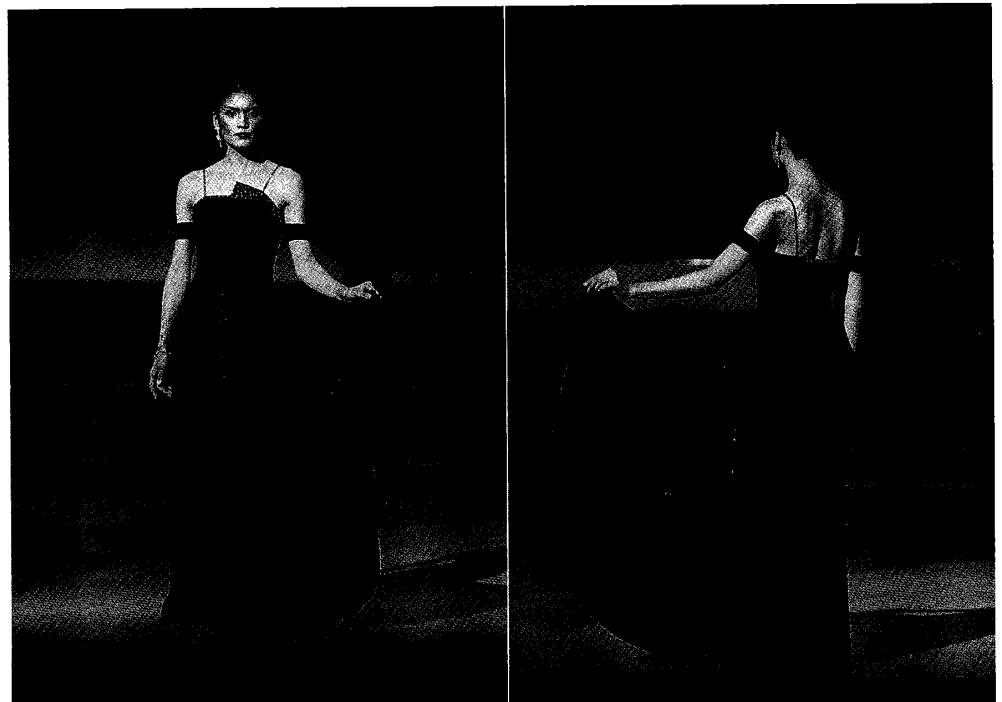
制作日程

- 1) 6月11日 (火) ショーテーマ、演出説明会、モデル決定
- 2) 7月12日 (金) デザイン画提出
- 3) 8月1日 (水) モデル仮縫い
- 4) 8月12日 (月) ~ 9月4日 (水) 制作
- 5) 9月5日 (木) 衣装合わせおよびリハーサル
- 6) 9月9日 (月) ショー本番 (11:00,14:00)



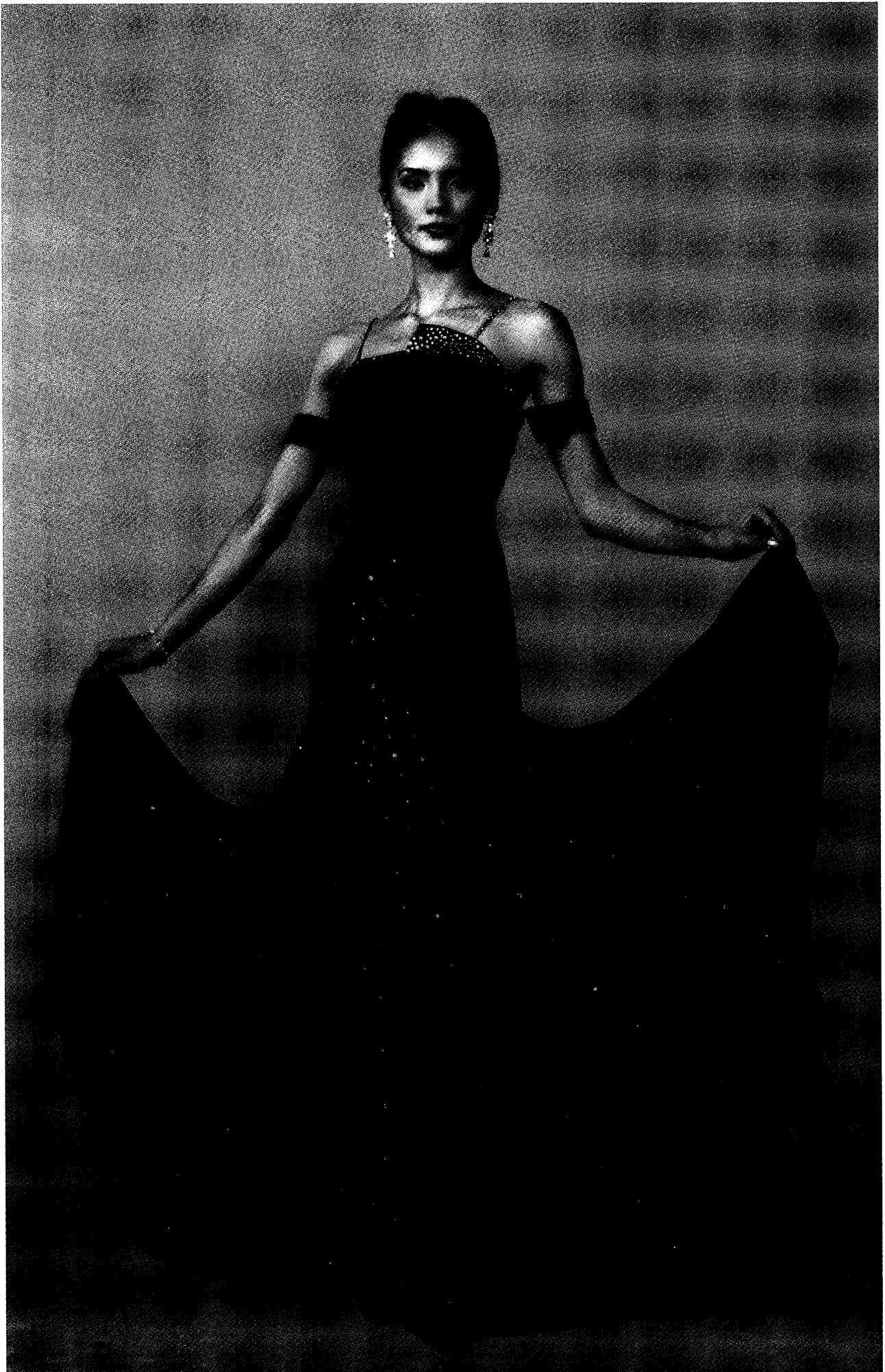
ラメ紗ドレープのパターン

黒のベルベットのロングドレスはアシンメトリーな胸明きにし、ラインストーンをアクセントとしてそれを協調しました。ボックスプリーツのスカートの中心からラメ紗のドレープをつけ、ラインストーンを放射状に散りばめて、ひらひらと優雅に舞う黒蝶をイメージしてデザインしました。シンプルでエレガンスなそして凛とした強さを内面に秘めた女性を表現しました。



⑤

⑥



橘 香子

イブニングドレス 「黒蝶」

第70回NDKファッションショー

2002年9月9日 フェスティバルホール(中之島)